

議会だより

「美郷がいちばん、好きです美郷」



おおざか
**大坂橋完成！
三世代家族が渡り初め**

主な内容

- P2~3 繰越金でも追いつかず —— 6月定例会概要
- P4~5 保険税に質疑集中 —— 主な議案質疑
- P6~7 主要事業に意見書提出 —— 研修会
- P9~14 6人の議員が町政を問う —— 一般質問
- P16 民謡は私の生きがい —— キラリ美郷人

6月例会概要

医療費伸長

繰越金補正でも追いつかず

6月定例会を6月8日から13日までの6日間の会期で開きました▼今定例会では、国民健康保険税条例の一部改正案や、平成十八年度一般会計補正予算など20件の議案を審議しました▼その結果、美郷町国民健康保険税条例の一部改正案など3議案が賛成多数で、その他の議案は全員賛成で原案の通り決めました▼また、一般質問には6議員が登壇しました▼そして、請願・陳情7件を審査した結果、6件を採択し1件を不採択としました。

一世帯平均 5千532円の増

国民健康保険税額は、毎年、前年度繰越金がほぼ確定する、この6月定例会で決まります。

今定例会、国民健康保険特別会計補正予算の歳

入に、前年度繰越分として1億4千226万6千円が追加されました。しかし、3月定例会の当初予算で示された医療費の伸長には追いつかず、税

「健康で長生きが一番！」



率の改正案が提案され賛成多数で決まりました。

国保税は、医療費分と介護保険分を、それぞれ所得割・資産割（応能）、均等割・平等割（応益）に分けて算定し、その合計額を賦課します。

今回の改正では、医療費分の平等割額が前年度より減額された以外、すべて増額や税率アップとなりました。一世帯平均の増加額は、医療費分で5千532円、介護保険分で3千276円です。詳細については別表をご覧ください。



乳児健診より

一般会計補正予算

8千704万円の追加

また、今定例会で審議した平成十八年度補正予算では、歳入・歳出それぞれに8千704万円を追加し、補正後の予算総額を112億4万円としました。

主な内容は、町営住宅建設事業の2棟分の追加3千432万5千円と、児童手当の制度改正による予算の組換えや4月の人事異動による人件費の調整です。また、十八年

度当初予算での期末手当の計上ミスにより、4千563万3千円を減額しています。以下、4～5Pに主な質疑を掲載します。なお、広報『美郷』7月号にも6月定例会の特集が掲載されています。合わせてご覧ください。

美郷町国民健康保険税条例の一部改正について(別表)

国民健康保険税税率調

区分	応 能				応 益			
	所得割		資産割		均等割額		平等割額	
	17年度	18年度	17年度	18年度	17年度	18年度	17年度	18年度
国民健康保険（医療分）	6.30%	7.40%	26.00%	31.20%	21,600円	23,100円	27,000円	21,700円
介護給付金課税（介護分）	1.00%	1.20%	5.57%	8.00%	6,300円	7,100円	3,800円	4,200円
合 計	7.30%	8.60%	31.57%	39.20%	27,900円	30,200円	30,800円	25,900円

国民健康保険税額調（医療分）

区分	一世帯当たりの額	一人当たりの額
17年度	128,691円	53,948円
18年度	134,223円	58,190円

国民健康保険税額調（介護分）

区分	一世帯当たりの額	一人当たりの額
17年度	21,230円	14,879円
18年度	24,506円	17,537円

- 所得割
所得（課税総所得金額）に応じて計算
- 資産割
資産（固定資産税）に応じて計算
- 均等割額
加入者数に応じて計算
- 平等割額
1世帯いくらと計算

国民健康保険税 改正に 質疑集中

定例会最終日、あらかじめ説明が終了している議案に対して、本会議での質疑・討論・採決がありました。その、主な質疑・討論を要約しお伝えします。

国民健康保険税条例の一部改正《賛成多数で可決》

武藤威議員 値上げの根拠と、それに伴う引き上げ率は。

住民生活課長 医療費の伸びを勘案した提案で、前年度比一世帯当たり4.2%増、一人当たり7.8%上がる。

吉野久議員 問題は、医療費の抑制だ。予防医療の充実や生き甲斐づくり、健康世帯の顕彰が必要だ。
住民生活課長 予防活動に鋭意取り組み、無傷病世帯の表彰を大々的に実施したい。

熊谷良夫議員 現在の基金残高と、その適正額は、
住民生活課長 基金は、

1億6千383万4千円。適正額は5億円程と思う。

反対討論

泉美和子議員 所得が低下している中、国保税の値上げは重税感とともに家計を圧迫する。あらゆる財政措置で住民負担の軽減を図るよう求める。

賛成討論

戸沢藤一議員 現在、急激な医療費の増大に対応する基金も乏しい。しかし、町は住民の負担軽減のため繰越金すべてを充当するなど努力している。

国の法律改正に伴い 専決処分された国民健康保険税条例の承認《賛成多数で承認》

武藤威議員 介護分の賦課限度額が、8万円から9万円に引き上げられる。その対象者と、激変緩和措置の内容は。

税務課長 引き上げは、40歳以上65歳未満の方。緩和措置は、18年から2年間で65歳以上の方の所

得割などが適応し、714万円程が減額となる。

反対討論

武藤威議員 激変緩和措置とはいえ、介護分が高くなるなど賛成できない。

賛成討論

吉野久議員 国の法律改正に伴うものであり、地方はルールを守るべきだ。

平成十八年度一般会計補正予算《全員賛成で可決》

吉野久議員 住宅2棟分の前倒しだが、総枠は増やせないのか。
建設課長 県と11町村の共同事業なので増やせない。

熊谷良夫議員 コミュニ



歯科健診より

テイ事業の備品購入の内訳は。

町長公室長 テント10張り、イベントなどで町をPRするスタッフジャンパー100着を購入する。

熊谷良夫議員 町が管理する遊具の雪害調査と対応は。

総務課長 雪解けを待つて調査し対応している。

熊谷隆一議員 町民歌などのレコーディング歌手は。

町長公室長 町民歌は津雲優さん、イメージソングは旧千畑町出身の華山庄子さんを予定している。

鈴木一議員 青色回転灯3機の取り付け車は。

学務課長 教育委員会公用車2台と、幼稚園関係車1台に取り付ける。

鈴木一議員 「子ども見まもり隊」での事故はなかったか。

学務課長 事故はなかった。

国民健康保険特別会 計補正予算《賛成多数で可決》

反対討論

泉美和子議員 国民健康保険の値上げの税率改正に基づいた補正予算なので反対する。

簡易水道事業特別会 計補正予算《全員賛成で可決》

吉野久議員 本堂地区のタンク補助とあるが、簡

易水道は本来町の事業で行うべきでないか。

建設課長 簡易水道組合から要望があった。これまでの経緯もあり、今回限りということで補助をする。

熊谷良夫議員 六郷東部簡易水道事業のポンプ場は完成したが、供用開始はいつか。また、地元への説明会はいつ開くか。

建設課長 9月ごろの予定だ。また、説明会は7

月中に開く準備をしている。

鈴木一議員 東部簡易水道の事業完了年と、羽貫谷地地区の水道の取り扱いは。

建設課長 東部簡易水道は、平成24年までかかる。町長 羽貫谷地地区を含めて、水道未普及地の整備について18年度内に検討する。羽貫谷地地区については、早急の水質改善対策をとっている。

陳情

採択しました

美郷町立六郷中学校の通学路拡幅について
代表 辻征治郎

■出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める陳情書
秋田県青年司法書士会
会長 石井 寿

■違法伐採問題への対応強化を求める陳情書の提出について
秋田県林活議員連盟
連絡協議会
会長 津谷永光

■「ずさんな米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める」陳情書
秋田県労農市民会議
議長 石田 實

■地方交付税制度の財源保障機能を堅持し、充実させる陳情書

日本自治体労働組合連合会
秋田県本部
中央執行委員長 伊勢隆志

■住民の暮らしを守り、公共サービスの拡充を求める陳情
秋田県労働組合総連合
議長 日野 充

不採択としました

■農作物価格の保障を軸とし、すべての農家を対象にした経営安定対策を求める請願書
農民運動秋田県連合会
委員長 佐藤長右衛門

反対討論

武藤威議員 国・県の決定に対し批判もせず、従うだけではこの地域・農村がつぶれる。不採択には反対だ。

賛成討論

熊谷隆一議員 すでに説明会が開かれ、この政策を含む18年度予算も可決されている。町民に無用の混乱を招かないようにするために、不採択が相当だ。



最新設備の六郷東部地区浄水場

公共施設・主要事業 視察研修会意見書

○町内主要事業視察研修会

平成18年6月12日、町内の主要事業を視察し、議会の意見としてまとめ、町長に報告しました。その内容を掲載します。



3 大台野広場 (千畑地区)

- アクセス道路の整備が必要。



1 郷土資料館 (千畑地区)

- 民具、農具、わら細工等の展示品は町の貴重な財産であり、後世に伝えるためにも保存が必要。



4 大坂善知鳥外川原線改良舗装工事 (千畑地区)

- 国体ロードレースのコースであり、現段階の工事進捗状況から工事発注の時期を早める対応が必要でなかったか。



2 坂本東嶽邸 (千畑地区)

- 明治時代の雰囲気を感じさせる建物であり、広くPRしてほしい。



9 民俗資料館 (仙南地区)

- 館内にある収蔵品は、千畑地区の郷土資料館にあるものと共通するものが多いこと、また、保存状態も良くないことから、郷土資料館にまとめて保存展示を望む。
- 老朽施設であり解体整備の検討が必要。



5 六郷東部地区簡易水道浄水場 (六郷地区)

- 敷地内の舗装にゆがみがあり、水たまりが見られたので補修を望む。



10 雁の里山本公園 (仙南地区)

- 歴史的な名所、温泉施設、スポーツ施設が一体となった公園であり、今後のPR等を含めた整備計画について隣接との協議が必要と思われる。



6 東大通り線改良舗装工事 (六郷地区)

- 事業の計画段階で費用対効果の検討が必要でなかったか。
- 今後、完成した道路をどのように活用していくのか検討が必要。
- 道路の延長については再検討が必要。



11 美郷町学友館 (六郷地区)

- 特記事項なし。



7 赤城・扇田線改良舗装工事 (仙南地区)

- 庁舎間を結ぶ主要道路として多くの住民に活用される利便性のある道路であり、広く住民にPRしてほしい。



12 六郷自転車競技場 (六郷地区)

- 特記事項なし。



8 仙南総合体育館リリオス (仙南地区)

- 維持管理費が高いため、使用料が他の施設と比較して高めであるが、国体終了後は美郷町唯一の総合体育館になることから、多くの町民に親しまれる施設として有効活用してほしい。



6人の議員が一般質問

町政を問う

今定例会の一般質問では、6人の議員が登壇し、町長に町政を質しました。以下、主な質問と答弁を要約してお知らせいたします。

○質問者

熊谷	良夫	議員
吉野	久	議員
鈴木	良勝	議員
中村	利昭	議員
泉	美和子	議員
深沢	義一	議員

熊谷 良夫 議員



写真入りパンフ発行を

庁舎内に配置図を設置

熊谷良夫議員 顔の見える距離、声の聞こえる範囲として小さな合併を選んだ美郷町は、みんなが顔見知りなことが大切だ。役場に行っても知っている人が少なく、相談しづらいとの話を聞く。職員の顔が分からないという不満を解消することが「地域一体化の推進、行政サービスの水準の維持向上」の手始めではないか。そこで、農協が出

した部署ごとの顔写真入りのパンフレットのようなものを発行してはどうか。

町長 現在、町職員は特別職も含め300人いる。顔を認識できるパンフ作成となれば、対応の厚みある冊子となる。人

子どもを守る取り組み強化を

教育委員会でも巡回

熊谷議員 「子ども見まもり隊」のステッカー効果として、「地域のみんなが常に見守っています」と不審者に無言の圧力をかけるのがあるならば、下校時のパトカー巡回が一番効果的ではないか。

町の広報車や、交通指導隊の広報車をもっと活用すべきだ。また、ステッカーの他に、腕章や名前をつけたワッペンなどがあれば積極的に子どもたちに声かけができ、声かけ運動から、地域の一体化が始まると思う。

町長 交通指導隊広報車

事異動もあり毎年作成しなければならず、各世帯に配布するパンフレットの作成・発行は難しいと考える。

そこで、各庁舎内に、職員の顔写真入りの配置図を設置し、気軽に相談できるように配慮したい。

による下校時の巡回だが、既に指導隊には、交通安全などで巡回する際に合わせて「子ども見まもり隊」の役割も担ってもらい、下校時間帯のパトロールを週2回お願いしている。

今後は、教育委員会事務局公用車などに青色回転灯を設置し、下校時間帯に定期的な巡回を行う。また、地域安全見守り隊が各学校に立ち上がり、見守りと声かけ運動を実施するため、腕章やタスキ、帽子などを購入し取り組んでいる。

全児童対象の通学バスを

遠距離対策だ

熊谷議員 以前、他の議員が一般質問で行った町内全児童を対象にしたスクールバス運行の提案は、その後検討したか。

新潟県加茂市では、全児童を対象にした通学バスを運行している。このような時代だからこそ、真剣に検討する事柄ではないか。

町長 スクールバス運行については、先の議会での

の答弁どおり、遠距離対策とらえている。確かに、バスでの送迎は、危険性の低減に効果があるが100%安全とは言い切れない状況もある。

家庭、学校、行政関係者、関係団体のネットワークをしっかりとさせ、地域が一体となって防犯に取り組むことが大切だと考える。



児童の登下校時の様子

商工業の活性化と景気浮揚対策を

吉野 久 議員



景気浮揚対策が必要だ

町民の所得増が肝要だ

吉野久議員 国は、景気を回復基調にあるとしているが、地方は、不況の底から抜け出せないのが現実だ。

国の、基礎的財政収支の黒字を目指した構造改革と公共投資の削減・効率化が、地方の切捨てにつながるのでと危惧する。また、地方にとって

の公共投資は、いまだに即効性ある景気浮揚対策と考える。

本来、自助努力すべき商工業だが、それでは淘汰される現状だからこそ、行政の積極的な政策展開が必要だ。美郷町の景気判断と、行政のかかわりをうかがう。

町長 町の景気を、直接

的に判断できる指標はないが、業種によって事情が違うようだ。

公共事業については、バブル崩壊後の国債・地方債を原資とした事業発注が現在の状況を招いたことを勘案し、その方策は避けねばならない。

町は、基本的に町民全

合併特例債での新規事業は

地域活性化に資したい

吉野議員 十八年度の町の投資的経費は、継続事業中心に一般・特別会計合わせて14億6千600万円程。しかし、工期が年度末にかかることが多い。

景気浮揚対策と工事効率を上げる観点から、①できるだけ早い時期の事業発注。②来年度予定している投資的事業の前倒し。③財政を圧迫しない範囲でまちづくりに不可欠な、合併特例債適用の新規事業計画を望む。

町長 ①毎年4月に、130万円以上の工事発注

体の所得が伸びるよう支援策を講ずることが肝要だ。具体的には、ネットワーク化による魅力ある商業推進、商店街活性化の総合支援、企業間交流促進や誘致企業支援、複合作物の作付け拡大や地産地消の推進、畜産振興などの政策を展開する。

見通しを公表するが、可能な限り早期発注に心がけている。②国・県との予算枠や単年度の基礎的



まちづくりの核となる「湧太郎」

財政収支、起債償還年度の公債費比率の問題もあり長期的視点での判断が必要だ。③合併特例債は、美郷町総合計画に基づき

活用しているが、事業の緊急度や財政環境、基礎的財政収支を考慮して適切に活用し地域活性化に資したい。

取り組め商業振興策

対応したい

吉野議員 イオン(株)が、和合地域に大商圏対応型スーパーセンターを計画するなど、美郷町の商業環境は悪くなる一方だ。商業振興政策として、次の事業の方針や政策をうかがう。

①今年度の地販地消推進事業は条例制定で終了するが、策定後の具体策やその成果。②商工会が発行する美郷町商品券の町事業での有効活用。③新たに、中心市街地活性化協議会を設立して構想を策定した、第二次中心市街地活性化事業。④見直しされた「まちづくり三法」を、今後のまちづくりにどう活かすか。

町長 ①関係団体の方々

に委員委嘱し、美郷産品や商店街の魅力創出などについて検討し自らが行動するよう活動展開したい。また、都市部への売込みなど新たな事業展開に期待する。②各種イベント時の活用を検討し、三セキイベントでの活用を要請するなど配慮したい。③総合計画では、商店街活性化の総合支援策として位置づけている。法律が改正され、検討が必要と考える。④改正内容が、規制緩和の流れを転換して郊外開発を規制し、商業に特化していた政策を、都市機能の集積や居住促進に配慮した趣旨を理解し対応したい。

安全な無人へり防除の推進を

鈴木 良勝 議員



ポジティブリスト制度への対策を

農家、行政が共通に取り組む

鈴木良勝議員 ポジティブリスト制度導入に対する町の対応についてうかがう。
この制度は、食品衛生法の改正に伴い、すべての農薬に残留農薬基準を設定するというもので、販売を目的として栽培されるすべての農産物が対象となる。その基準値は

0・01ppmに設定され、基準値以上の残留が検出されれば、その作物の流通を禁止するという非常に厳しい内容だ。この制度の導入により、無人へり防除に与える影響は非常に大きい。
また、ニートやフリーターと言われていた若者たちが無人へりと出会

い、夢のある農業経営を目指して一生懸命に働いている事例もある。

ポジティブリスト制度が要因となり、無人へり防除が衰退の道をたどってはならないと思う、次の二点についてうかがう。

一点目は、販売目的で農作物を栽培している周辺の圃場の防除対応について。

二点目は、平成19年度から導入される品目横断的農業経営対策の推進とも関連するので、JANAなど関係機関、団体と連携し、農地の集約化の推進に真剣に取り組む考えがあるか。

町長 一点目だが、町ではこれまで農業団体などの意向を確認しながらポジティブリスト対策について協議を重ねてきた。その結果、町内3地区とも、農家に制度周知のチラシを配布し、既に販売した粉剤については自主回収することにした。

無人へり所有団体には、農薬飛散防止に向けたノズル交換をするよう指導する。また、オペレーターなどを対象に飛散防止対策の講習会、散布の技術指導を実施する。

系統出荷野菜の栽培圃場から三十メートルをポジティブラインと設定し除外区域となった水稲圃場については、粒剤による地上防除を実施する。

こうした、農業団体などと連携を図った一連の取り組みで、混乱を来さぬよう留意し対応する。

二点目については、今年度の対策として、産地づくり交付金を活用し、3ヘクタール以上の連担団地形成やブロックローテーションを推進し、土地利型作物や野菜などの団地化を図っていく。

また、来年度から始まる品目横断的経営安定化対策の推進の中でも、経営合理化のみならずポジティブリスト対策につながるよう、県や農業団体な



▲ 5月30日に行なわれた無人へり農薬飛散防止講習会の様子



どの連携のもと集落営農や農業法人化を進める中で、販売目的の野菜などの作付けの集団化を指導したい。

いずれにせよ、ポジテ

ィブリスト対策は大変重要な問題であり、農家、農業団体、行政が共通認識で取り組むことが肝要と考える。

各温泉施設の効率化と利用向上を

中村 利昭 議員



温泉施設―時代にあつた運営とサービスを

特徴を活かしながら運営

中村利昭議員 平成16年11月にスタートした美郷町は、比較的順調に動いていると思つているが、時代の流れも早く、国、県はもとより、町行政にも改革が求められている。今後、庁舎の統合や小中学校の統合問題など、議論が必要な問題が山積みされていると認識

しているが、旧三町村が抱えてきた温泉施設もそうした問題の一つだと思つうが。経営形態が、民間、三セク、直営とそれぞれ違いがある。条例や会社の規則などによって運営はされているとは思つうが、従業員に対する雇用の形態や労働条件に格差はな

いか。

また、各地域の利用者に平等にサービスの提供がされているのか不安もある。行政が運営しても、民間と同質のサービスをするべきだ。各施設の優れた特徴は生かしなが、差別化なども考え合わせ、時代に合ったサービスの検討、見直しが必要だ。



湯とびあ雁の里温泉施設

町の福祉協議会では、県福祉協議会の指定により、トータルケア事業として町外の温泉施設を利用した健康づくり活動の話があるが、町内の温泉施設は使われないのか。**町長** 旧三町村とも、住民の健康増進や保養を目的として温泉が設置されてきたが、施設管理、手法には違いがあつた。

今年度から千畑温泉と六郷温泉は、指定管理者の千畑ヘルス観光株式会社と有限会社あつたか山に、それぞれ管理を委託している。各会社の経営理念が違い、組織体制、営業内容に差異がある事から、従業員の待遇も異なっているが、会社が違うので問題はないと思つている。

各温泉それぞれ、自然環境が整つた公園内に設置されており、健康面のみならず、交流やいやしの場として、更には地域の一つの顔として位置づけられてきた。千畑温泉は、宿泊施設、水泳施設、物産館などがあり、総合レジャー施設となつている。六郷温泉には、キャンプ場やコテージが併設されていて、アウトドア的要素がある。仙南温泉は、レジャー機能の他に福祉機能を兼ね備えているなど、それぞれ特徴があり、それを踏まえたサービスが

展開されている。

類似の第三セクターについては、今後、検討する方針だが、温泉施設についても、各施設の特徴を認識しながら施設の経年劣化、維持費の見直し、利用状況、収支の見直しを踏まえて、管理主体も含めて検討していく。

社会福祉協議会でのトータルケア事業に関する質問については、答弁を差し控えた。

再質問

中村議員 温泉施設には、町の手算も投入されているし、財政状況を考えた場合、一本化して仮のようなものを作る考えはないか。

町長 行政が経費をかけるのであればもっと大きな考えをとつて提案については、重く受けとめ今後検討する。

泉 美和子 議員



共通無料券の発行を

慎重に検討したい

泉美和子議員 現在実施している「千畑温泉保養所無料券」を、町内全ての温泉で利用できるような共通無料券として使えるよう求めるが考えをうかがう。

町長 合併した良さの一つとして、合併前に千畑地区で実施していた千畑温泉保養所の無料券助成を全町に拡大し実施している。以前にも答弁したが、福祉施策については、な

くてはならない施策とあれば便利な施策を、財政状況を踏まえ議論することが必要と考える。町単独のサービスの在り方については、将来の財政負担も考慮しながら慎重に検討することが必要と考えている。

子ども見まもり隊の充実を

住民協力と対策の充実を図る

泉議員 「子ども見まもり隊」の取り組みや、防犯灯の整備を含む通学路の再調査、および学童保育などの充実を求めるが、見解をうかがう。

町長 「子ども見まもり隊」については、取り組みが浸透し、協力者も増加している状況である。また、児童に対する指導や防犯授業も行っている。関係各位には、パトロール時間を児童の下校

時間に合わせてなど防犯体制の強化をし、教育機関においては緊急会議の開催により、関係機関と連携しながら安全対策の充実を図っている。

学童保育に関しては、国の要綱に基づき実施しているが、安全性の面から事業拡大は困難と思われる。今後は、町としての学童保育の在り方を検討していくことになると考えている。

国保税の負担軽減を

安定的な運営に努める

泉議員 今定例会で、国保税値上げの条例改正案が提案されているが、国の税制改正による負担増

もあるため、財政措置による負担軽減への見解をうかがう。

町長 国民健康保険特別



千畑温泉保養所の全景

会計は、保険制度に関わる様々な必要経費に対する歳出と、国や県からの交付金、町の一般会計からの財政安定化支援事業繰入金などの歳入により均衡を保っている。保険税は、歳入の不足分として賦課されている事への理解を頂きたい。

今回の税率改正は、必要額の確保のためであることにご理解願ひ、国民健康保険の仕組みなどについて広報を通じながら周知し、安定的な運営に努めたい。

深沢 義一 議員



食の祭典開催を

料理コンテストを検討

深沢義一議員 町は、生産物の祭典として美郷フェスタを開催しているが、さらに食について一歩踏み込んだフェスティバルを創出してはどうか。

総合計画にある「人がふれあう町」に向け、生産者と消費者の直接的な会話など、地域融和と活性化につながり、地販地消や景気浮揚にもつながると考える。

町長 食に対する関心を高めてもらうため、今年度の重要施策として、地域食材の流通や情報の共有化など、直売所ネットワークの構築による地産地消の推進。地域の食材を通じて食の教育を図る「丸ごと美郷給食」の実施などを予定している。

食の祭典の重要性は認めるが、まずはできることからの観点で、「美郷の味創出」をテーマに美郷フェスタの一企画として、地域の食材を使った創作鍋料理などのコンテストを検討する。

地域担当職員の配置を

行政区再編で配置する

深沢議員 来年開催される国体や、来年度より実施される農業大綱、さらには行政区の再編など、地域の取り組みはもとより、町としてのより一層のリーダーシップが求め

られている。

新町が誕生して3年目であり、行政と住民とのより一層の一体化を推進するために、地域担当職員の配置は意義あるものと考ええる。



「美郷町べごっこまつり」から



町長 地域担当者を配置することは、行政を身近に認識してもらうことや、住民と行政機関の一体感の醸成に一定の効果があるものと考ええる。

しかし、役場業務の専門性や組織の一体的体制を考えれば、地域担当者の役割は取り次ぎ的対応

になるだろう。

現段階では、今年度の課題である六郷・仙南地区の行政区再編の円滑な推進を図るために担当職員の配置を考え、行政区再編が落ちついてからの検討となる。



講演する高橋誠氏



研修会の様子

秋田県町村議会議員研修会

高橋 誠氏・今村都南雄氏による講演

住み良いまちづくりをめざして

7月14日、秋田県町村議会議員研修会が、秋田県市町村会館で行われました。

始めに、政治ジャーナリスト 高橋 誠氏を講師に迎え、「政局展望」をテーマに講演がありました。

次に、中央大学教授 今村都南雄氏を講師に迎え、「町村議会の課題と今後の地方自治について」をテーマに講演がありました。いずれも将来のまちづくりに参考になる充実した内容の講演でした。

可決された議案

- 秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について
- 秋田県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について
- 美郷町高額療養費貸付基金条例の一部改正について
- 美郷町国民健康保険税条例の一部改正について
- 美郷町障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の制定について
- 美郷町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 美郷町介護手当支給条例の一部改正について
- 工事請負契約の一部変更について（2件）
- 美郷町モーテル類似旅館規制条例の制定について
- 平成18年度美郷町一般会計補正予算第1号
- 平成18年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第1号
- 平成18年度美郷町老人保健特別会計補正予算第1号
- 平成18年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第1号
- 平成18年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第1号
- 平成18年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第1号



議会の動き

5月	6月	7月
31日 議会運営委員会	8日 第4回議会定例会（6月13日）	5日 議会広報特別委員会
31日 議会広報特別委員会	12日 議会広報特別委員会	12日 議会広報特別委員会
	13日 議会全員協議会	13日 議会全員協議会
	21日 公共施設・主要事業視察研修会	18日 議会先進地研修会（7月20日・新潟県）
		14日 秋田県町村議会議員研修会（秋田市）
		12日 議会広報特別委員会

シリーズ

キラリ美郷人

みさとにん

VOL.3

民謡は私の生きがい!

仙南地区 後藤 弘さん

今回は、知る人ぞ知る『第8回・民謡長者の山全国大会』の優勝者、後藤弘さんに登場願いました。

今回は、知る人ぞ知る『第8回・民謡長者の山全国大会』の優勝者、後藤弘さんに登場願いました。きも、人目を気にせず歌っていた。」後藤さんは、そんな環境で育ち、ごく自然なかたちでこの民謡の世界に入れたと言います。

「民謡を始めるきっかけは、代々唄好きの家系に生まれ、幼いころから唄を聞かされて育ってきたこと。親父は、農作業中も風呂に入っていると

また、これまでの道程を、「6歳のころから民謡を歌い始め、中学1年の卒業式で、始めて人前で『生保内節』を歌った。



熱唱する後藤弘さん

プロフィール

- 平成4年 文化庁主催「アジア太平洋うたとおどりの祭典」国際公演に金沢伝統掛唄にて国立劇場に出演
 - 平成5年 第14回NHK東北民謡コンクール秋田県大会で県代表となる
 - 平成6年 (財)日本民謡協会北東北大会成年の部で優勝
第4回相撲甚句全国大会個人の部で4位に入賞
(平成13年、14年、16年 優勝)
 - 平成7年 金沢八幡宮伝統掛唄大会で優勝する
 - 平成8年 第8回秋田おぼこ節全国大会で敢闘賞に入賞
 - 平成10年 (財)日本民謡協会秋田県連合大会壮年の部で優勝
金沢八幡宮伝統掛唄大会で準優勝する
 - 平成17年 第8回民謡「長者の山」全国大会一般の部で優勝
長者の山全国大会実行副委員長になる
- ※秋田県民謡協会公認助講師 (民謡)
※秋田県民謡協会理事
※美郷町仙南民謡同好会会長

■後藤弘道場の問い合わせ先

美郷町金沢字押切谷地33 TEL0182-37-3191

その後も、師匠に付かず独学で練習し、県内のあらゆる大会に出場したが、結果はことごとく落選。生まれつきの負けず嫌いで、その悔しさをバネに練習を重ね、ついに3年目の挑戦でNHK東北民謡コンクール秋田県大会で優勝し、その年の北東北、東北大会でも優勝することができた。

今、助講師の資格をとおり、自宅敷地内に『後藤弘道場』を開いて後継の指導にあたっている。現在、門下生が19人いる。大半が40歳以上で若手がないのが悩みだが、門下生の中に、小6、高3の二人の女子生徒がいるので、卒業後も民謡を続けて伝統を継承してもらいたい。」と語ってくれました。

最後に「民謡が好きなのであれば、誰でも入会や練習ができませんので、お気軽に立ち寄って声をかけてください。」の言葉で、インタビューを終りました。

編集後記

▼某先輩議員の壁に張られた教訓にハツとした。

真剣だと

知恵が出る

中途半端だと

愚痴が出る

いい加減だと

言い訳ばかり

ことわざ、名言、格言、ときどき目にしますが久々に心に響く語句がありました。

誰にでも心に残っている言葉、句があるのではないのでしょうか。デフレ状況下、ガソリ

ンンの高騰などについてい愚痴も出がちです。厳しさを増す社会状況、知恵と汗を出しみんなで乗り切らなければなりません。そしてそれこそが、合併の意図するところであります。

▼まずは元気にトライ!!

議会報編集も知恵を出し合い、みなさんに親しまれる紙面を目指して頑張っています。ヨロシク!! (深沢 義一)



数々のトロフィー